

事業所名 ひだまり

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

2025年

3月

10日

法人(事業所)理念		児童の将来的な「自立」を目的とし、命を尊び、周りの人々との「絆」を大切にしています。	
支援方針		子どもたちが自ら考え、判断し、行動することを大切に、日々の活動を通して心身の成長を支援します。	
営業時間		10時0分から 18時0分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの習得…床、ロッカー拭き掃除、床掃き掃除、自分の使ったお皿やお弁当箱洗いを通し身辺自立の意識を育て将来に繋げる。食育やおやつ作りを通して、楽しい食事の場や自立生活に向けて調理技術を習得する。命を守る為に、避難訓練を2週間に一度実施。	
	運動・感覚	作業療法士による運動遊びのプログラムでは「姿勢や運動のコントロール」「体幹や体のバランスを整える」など、子どもの得意・不得意を見極め一人一人に合った支援を行う。 絵画教室、音楽療法やダンス指導では楽しく感覚を統合し、表現できるようになる。	
	認知・行動	異年齢の集団生活をスムーズに行えるよう はじめの会でデイリープログラム、役割を視覚や聴覚で提示。見通しを持った行動や自主的に行動できる環境を整え、 ○自ら考え、判断し、行動する。○「分かりません」「手伝ってください」が言える。○友達やスタッフに相談できる。○集団生活のルールを身に付ける。 を大切にしている。	
	言語 コミュニケーション	気持ちの良い挨拶、遊びや様々な活動の場面で適切な気持ちの伝え方ができるよう職員がサポートしながら身に付けてく。 発達のゆっくりな子どもに対しては機をとらえ正しい言葉をスタッフが口の動きを見せ発語を促す。	
	人間関係 社会性	挨拶が自ら出来るようになる。「ありがとう」「ごめんなさい」を相手に伝えることが出来るようになる。自発的に役割(作業)を見つけられる環境作りをする。 クラスリーダー等の役割を経験することで自己肯定感を育て、人前で話せるようになったり、周りに気を配れるようになり、クラスをまとめる力をも育てていく。	
家族支援		家族からの相談や悩み事に対するの助言を行います。	移行支援 就労支援「ひだまりの結び」との情報共有
地域支援・地域連携		地域ボランティアによる読みきかせ 地域高校生ボランティアの受け入れ	職員の質の向上 職員会議では利用児のケース検討を通し、発達特性の理解を深める。研修の実施。(毎回 虐待研修も実施)
主な行事等		長期休みに工場見学、公園などで自然探索活動、夏祭り(事業所内緑日)、クリスマスコンサート(父親集会、カフェ+母親交流 検討中)	